

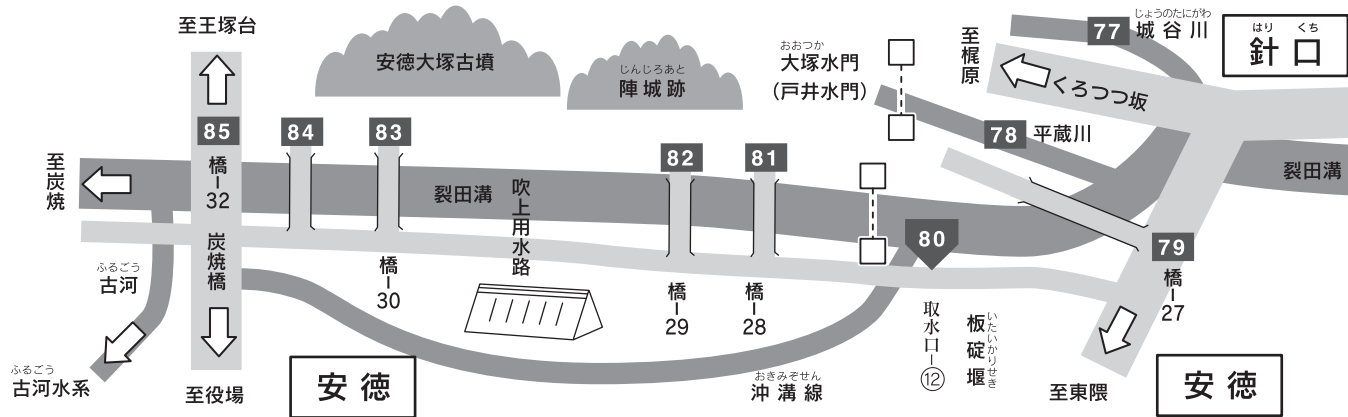
裂田溝と周辺の史跡景勝72～84

裂田溝No.5(安徳地区)

No.	地域	No.	コースメモ	No.	史跡メモ
探訪101 裂田溝28	亀島橋周辺	72	橋-23 亀島橋	・ 裂田溝沿いの・もみじ・さくら・梅の木	
		73	橋-24 上御所橋	・ はぜ並木	
		74	橋-25 下御所橋	・ 横穴	
探訪102 裂田溝29	カワセミ橋周辺	75	橋-26 カワセミ橋	・ 9万年前の地層(阿蘇山火砕流)	
				・ 蛇かご	
				・ 植樹祭記念樹(もみじ・マテバシイ)	
探訪103 裂田溝30	安徳台と西側周辺	76	取水口-⑪ こぶの口	・ うそん谷トンネルの水路への送水管跡	
				・ うそん谷の水路跡(トンネル)	・ うそん谷の猿田彦
				・ うそん谷	・ 安徳宮(安徳天皇の祠)
				・ 久便池	・ 西谷山明応寺
				・ 風早の猿田彦大神(嘉永四年 辛亥 令月吉辰)	
				・ 西隈井堰(風早井堰の水車跡)	・ 風早神社

(こぶの口水系)東隈地区へ流れる

探訪104 裂田溝31	東隈周辺	①安徳台東側のふもとを流れる 堰-① 堰-②				⑨	・厄神社			
		②うそん谷への上り口にある 堰-③(過益堰)					・猿田彦大神 ・常夜灯			
		③安徳 論田の水車跡	④	論田の堰			・大日如来 ・石碑3基			
		⑤安徳の天神社	⑥	追松			・田神社跡(現人神社へ)			
		⑦十一面観音・聖観音(那珂川八十八ヶ所73番札所)								
		⑧東隈への堰		⑩	東隈の六地藏(5ヶ所)					
		⑪鳴水橋		⑫	こぶの口水系は、最後は、那珂川に落ちる。					
105・32	板碓堰	77	城谷川	78	平蔵川	▪	針口の三差路(くろつつ坂)	▪	通称「わんわん」	
		79	橋-27			▪	安徳大塚古墳	▪	陣城跡	
探訪105 溝33	吹上用水路周辺	80	取水口-⑫ 板碓堰			▪	大塚水門(戸井水門)	▪	沖溝線	
		81	橋-28	82	橋-29	▪	吹上用水路(サイホン式水路・戸井がかり)			
		83	橋-30	84	橋-31	▪	安徳 原田遺跡群(筒型器台出土)			
						▪	お地藏さま(竹原)	▪	猿田彦大神(竹原)	



安徳針口周辺の水系は6カ所あり、「裂田溝」の中でも複雑に水路が入り組んでいます。

①うそん谷への水路・カワセミ公園の北側に裂田溝をまたぐ送水管があります。かつて、こは上梶原から水を引いて、安徳台下の「くり抜きトンネル」を流れ、西側の田んぼへ入る水路でした。開削の時期は定かではありませんが、先人の苦勞と技量が偲ばれる貴重な水路跡です。

②こぶの口水路・「中溝線」は、東隈地区の田んぼへ流れる水路で、先で「古河」と合流し「鳴水橋」から那珂川へ流れ込みます。

これらの管理をされている堰守りさんは、「自然の水くらい有難いものはないです。大切な資源である水・土・太陽の恵みを人間が使わせてもらって生きている。もともと、自然の大切さを子どもたちに語り継いでいきたいですね。」と熱く語っておられました。

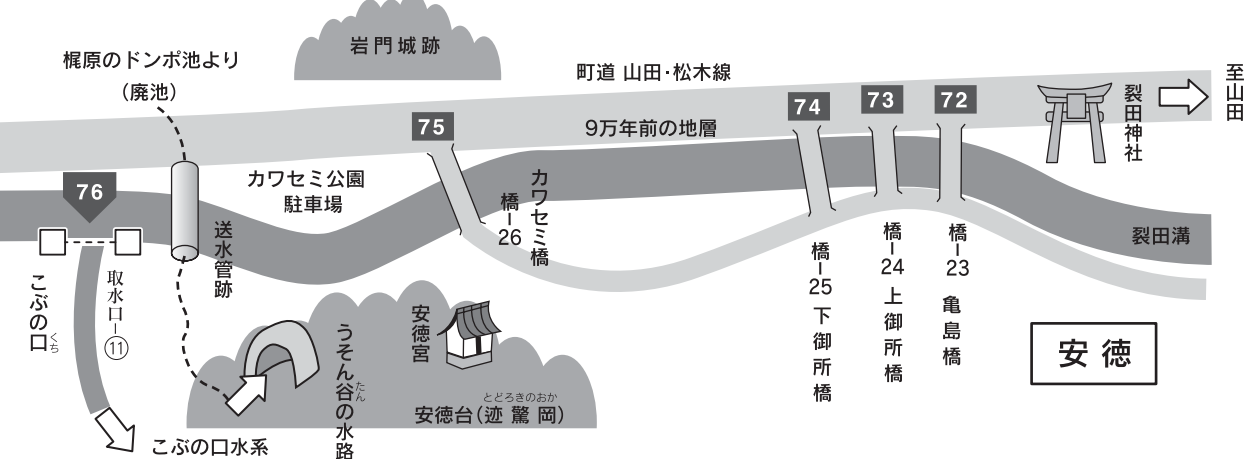
豊かな田んぼの実りを育ててくれる水恩に感謝 感謝!!

次号は、散策コース表(6)を紹介します。



放水路

護岸に取り付けられた水量計が120cmを越えると、自動的に「転倒堰」が作動し「沖溝線」と平行している道路の地下を通り那珂川へ流れ落ちます。



探訪 118



那珂川町郷土史研究会

裂田溝45

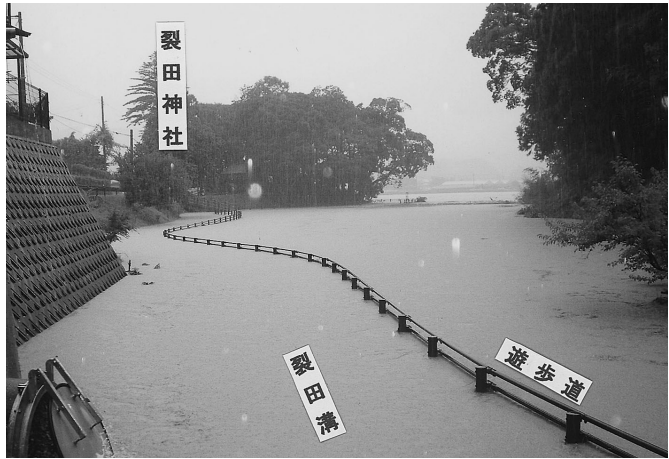
散策コース表(5)

③針口は道路・水路の要衝です。「城谷川」や、「平蔵川」が裂田溝と合流します。

④放水路・大雨が降ると裂田溝の水かさが一挙に増えるので、それを防ぐため道路下に水を逃がす「放水路」が造られています。7月26日には豪雨による浸水被害が発生し、一帯が一時通行できないほど冠水しました。

⑤「板碓堰」は下流域の集落への水量管理を調整する重要な堰です。取水口-⑫は「沖溝線」を通りライスセンター北側の田んぼを潤します。

⑥「吹上用水路」は、上梶原の平蔵池から取水し、裂田溝の地下を横切って、対面の三角形の土手に吹き上げるサイホン式水路で、近郷では珍しい貴重なものです。



水害発生(平成21年7月26日)

7月24日から降り始めた雨は、九千部山で562.0ミリに達し、観測史上最大値を記録しました。那珂川に架かる橋本橋下流が氾濫し、濁流が山田の北側の田んぼを越えて「裂田神社」から針口にかけて冠水しました。